

全社一丸で地球環境へ配慮 環境保全 資源循環 社会貢献



▲床暖房用のボイラー

1854年(安政元年)創業のみその老舗メーカー。みそのトップメーカーであり、即席みそ汁もトップレベルの有力メーカーだ。近年は「糰甘酒」に代表される糰製品、「大豆のお肉」に代表される大豆製品など事業領域を拡大。日本が誇る発酵の力を広く世の中に伝えている。

同社は環境保全、資源循環、社会貢献の3つを柱に日々の業務を通じて環境への取り組みを行っている。消費者にとって、ヘルスコンシャスな商品であることはもとより地球環境への配慮も全社一丸となって改善を続けている。

環境保全については、バイオガスボイラーによる省エネルギーに取り組んでいる。排水処理によって得られるメタンガスを蒸気ボイラーや温水ボイラーの燃料として活用。工場内のロードヒートや床暖房に使用している。



▲工場周辺では見事な枝垂れ桜が咲く

また、CO2排出量の削減にも取り組んでいる。基準年度(2016年度)に対して毎年1%以上の削減を掲げ、20年度まで毎年1%以上の削減を実施した結果、資源エネルギー庁から4年連続Sクラスの判定を受けている。

工場では緑化を推進している。消毒、草刈、芝刈り、落ち葉掃き、剪定など、工場周辺の緑地を管理。15年には「日本緑化センター会長奨励賞」を受賞した。長野市の「ながの百景」には、同社が管理している枝垂れ桜が選ばれている。裾花川の堤防沿いに咲く枝垂れ桜は道行く人の心を和ませている。

資源循環については、産業廃棄物のリサイクルに取り組んでいる。同社の製品製造に伴う産業廃棄物の約8割がリサイクルに使用されている。再生利用率は18年度に85.5%、19年度に80.6%、20年度に86.2%を達成した。また、生みそのカップはエコPETへの移行を準備している。

社会貢献については、フードバンクに協力している。社会福祉活動の一環として、本社のある長野県をはじめ全国の団体へ商品を寄贈、被災地や食堂などに配られている。

また、食品ロス対策の一環として、みそ関連の商品を中心に賞味期間設定のあり方を見直している。例えば、即席みそ汁「お徳用 料亭の味」シリーズの賞味期間を6か月から10か月へ、フリーズドライ顆粒みそシリーズの賞味期間を12か月から13か月へ延長した。